

科目名	法思想史 History of Legal Thought																																																											
科目担当者	洪山 昌雄 SHIBUYAMA Masao																																																											
単位数	4	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	通年																																																					
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(1)(5)																																																					
授業の概要	<p>本授業では、古代から近代にいたるまでの西洋における法思想の流れを概観する。法思想を深く理解するにはその根幹となる西洋思想史そのものを理解することが必要となる故、この講義では、西洋思想史の流れも同時に見据えつつ、法思想に焦点を当てて概観する。過去から現代に至る思想の流れと由来を理解することで、歴史における現在の私たちの立ち位置も見え、現代社会の諸問題についても自分なりに考える基盤を養うことができる。</p>																																																											
授業の到達目標	<p>①古代から近代にいたる西洋の法思想を理解することができる。 ②西洋の様々な諸思想を、系統的に関連づけて理解することができる。 ③様々な法思想を踏まえた上で、物事を多角的に自分自身で考えることができる。 ④過去の諸思想を踏まえた上で、現代社会の諸問題について、長期的な視野から考えることができるようになる。</p>																																																											
授業計画・内容	1	オリエンテーション	16	ホッブズの自然権と自然法	2	道徳と法、自然法①	17	ロックの自然法と社会契約論	3	道徳と法、自然法②	18	モンテスキューの思想	4	プラトン：イデア論と国家論	19	ルソー（1）：問題意識	5	アリストテレス① 基本思想	20	ルソー（2）：社会契約論と一般意志	6	アリストテレス② 国家論	21	カントの道徳哲学と倫理学	7	アリストテレス③ 正義論	22	カントの法思想	8	ストア学派の自然法思想とローマ法の成立	23	カントの永久平和論	9	アウグスティヌスの法思想	24	ヘーゲルの法思想	10	トマス・アクィナスの法思想	25	功利主義の法と倫理（1）：ベンサムとミル	11	トマス・アクィナスの戦争論	26	功利主義の法と倫理（2）：問題点について	12	ルネサンスと宗教改革	27	法実証主義（1）オースティンとハート	13	グロチウスの自然法論	28	法実証主義（2）ケルゼンの法思想	14	デカルトの方法的懐疑と神の存在証明	29	アーレントの政治思想	15	前期のまとめ	30	後期のまとめ
授業外学修 (事前学修)	毎回前もって授業内容をムードルに貼り出すので予習をし、新しい用語の意味はあらかじめ調べておく（毎週2時間程度）。																																																											
授業外学修 (事後学修)	毎回授業後に課せられた質問・課題を提出し、授業内容の要点を整理しておく（毎週2時間程度）。																																																											
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応																																																					
	授業毎の課題 レポート試験				30% 70%		③④ ①②																																																					
成績評価基準	秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合																																																											
教科書	適宜、資料を配布する。																																																											
参考文献	授業中に適時紹介する。																																																											
その他																																																												